

大切な命

ヒット曲「世界に一つだけの花」は争うことの無意味さを歌っています。店先に並んだ花はどれもきれいで誇らしげに見えるのに、「人間はどうしてこうも比べたがる」と問いかけています。だが自然界での生き残りをかけた植物の競い合いは、花屋の中と違ってなかなか激しい。

見上げる高さのセイタカアワダチソウが散歩道に生えている。長く伸びた茎の下半分は茶色くなり、葉のほとんどは枯れて落ち、てっぺんに咲いた黄色い花が寒風に揺れている。その姿はどこか壮絶ですらあります。可憐さとは程遠いイメージのこの帰化植物は、米国で可愛い野の花として親しまれているという。

原産地とは異なり、周りに強い相手が居なかったことが日本での大繁茂の原因という。元々の草丈が1メートルに満たなかったこの植物がモンスターに変貌した。「雑草はなぜそこに生えているのか。」空き地を一時びっしり埋め尽くした異様な光景は、力のバランスの変化が生み出した。

同じ構図は人の世にもあります。ひとたび均衡が崩れると新たな秩序を求めてぶつかり合う。そんな危ういプロセスに世界はあります。その中心にいる米中首脳が会談をしました。焦点は国防対話の再開です。話し合いで争いを防ぐ力が人には本来あります。「1つとして同じものはない」はずの大切な命が各地で失われる現実があります。それを変えるための知恵が問われている。



鎌野

混沌な時代

ロシアとウクライナの戦争に続いて、イスラエルとパレスチナの戦争、中国の経済崩壊と台湾有事の可能性、北朝鮮のミサイル、世界的な高温、環境破壊、自然災害、食料・水不足等、世界情勢はなんだか悪い方向に行っているとしか思えません。日本では、円安により大手企業は何もしなくても利益が拡大し、株価は上昇しているのに対して、我々中小企業や個人は、物価高や人手不足に苦しんでいます。

そんな中で政府は、休日を増やして残業をなくし給料を上げろという政策。我々中小企業の経営者は、手品師にでもならなければ乗り切ることのできないような要求です。政府の御偉いさん方は世界の実情を本当にわかっているのでしょうか？

アメリカの次期大統領は、どっちに転んでもまた高齢者になりそうだし、中国・ロシアは独裁政権が続き、本当に混沌とした世の中です。先に明るい見通しが立たず、若者が未来を悲観するのも当然でしょう。しかしながら、我々にできることは何時でも同じで、目の前のことに全力で取り組むしかないのです。

中国の若年層の失業率は20%を超えているそうです。アルゼンチンはインフレで、物価が今年の2.2倍になっているそうです。それこれを考えれば我々日本人は、今のところ安全だし、水・食料にも困っていないので、幸せだと思わなければいけないでしょうね。



英樹



配り

第294便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

カナカナと彼は誰時に声かすか夜明けとともに近づく輪唱
ねがみともみ



ふれあいの食事会にはまた一人の参加で絆深まり
林 なをみ



女人堂高野伽藍の町並みを外る坂の上つまし氣に在り
勝亦 りつ子



勤続 20 年

勤続 20 年なんだそうです。はい、私が、です。本当にあっという間の 20 年でした。

東京で環境調査の会社に勤めていた 20 年前、毎日船に乗り東京湾の水質測定をし、時には海や湖、ダムに潜ったり、時には河川の生物調査で、タモ網を持って駆けまわり、投網を打ち、所沢のダイオキシン騒動の時には大気調査をし、一日中魚道を遡上する稚鮎を目視でカウントする事もありました。日本全国に現場があり、方々に出張させてもらいました。なかなか楽しい仕事でした。それが紆余曲折ありまして U ターンしての現職。建設の仕事は子どもの頃に親父の手伝いで測量をしたくらい経験のみ、専門の教育も受けていない未経験からの転職でした。

右も左もわからない若造に多くの職人さんが優しく、時に厳しく様々な事を教えてくれました。今日まで一つ一つ積み上げてこられたのはお施主様、会社の同僚、職人さんなど周りの温かいサポートとご指導のお陰だと思います。本当にありがとうございます。

20 年たった今でも建築の仕事は学ぶべき事がたくさん有ります。日々新しい素材や技術・工法が生まれ、新たな法律が出来たり変わったり、住宅を取り巻く環境が変わり続けています。

肩書こそ現場監督、施工管理技士などと偉そうな名前が付くようになりましたが、今でも現場を縁の下で支えるフレッシュマンの気持ちで日々精進していきたくと思います。順調に働けるならば定年まで約 20 年。この先の 20 年もどうか皆様、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

柳田 敏和



永年勤続表彰

横浜



2023 年の師走となるのに、みょうに暖かい・・・。寒さに縮こまることが少ないので楽だが、なにか他に影響しそうな気がする。先日、方向音痴の友、三人と横浜ハンドメイドマルシェへ出かけた。コロナ前に行く予定だったがその時は台風で行けなかった為、今回リベンジで。バスで行けば横浜駅までノンストップ、そこからみなとみらい線に乗れば目的地の駅につく。みなとみらい線は端折ってタクシーで行きました。着くじゃん！！(笑)。

会場のパシフィコ横浜へ。ハンドメイド出店者は二日間で 2000 店、1 日で約 1000 店と考えても周りきれない！1 店の時間を短くして、などと言いながら、朝からそのイベントに行くため並んでいる列に並ぶ。圧倒的に女性が多く、年齢はいろいろ。ハンドメイドのイベントなので服装も個性的な方々が多い。この自己主張の強い人々を見るのも楽しみの一つであります。最初の店はアクセサリ、作品のレベルが高い！方向音痴の三人衆はハンドメイドマルシェに出かけることが多く。作品も作り、販売もしている関係上、ハンドメイドの品物の見方がちょっと斜に構えている。そんな感じなのでレベルが高いと感じる店はほぼ一緒。売ってる物 100 円ショップで買えるよ！それはそう、そこじゃない。口に入れるものでもひと手間かけると、美味しく食べてくれるでしょ！！って感じ。作り手側の気持ちも少しわかるので、作品の工程を聞く。これがまた面白い。熱く語る人々。嬉しくなります。しかしながら作って売ることの難しさも十分わかっている、このイベントに作品を出店しお客様に買ってもらう、となると、その品物に、材料、道具と人件費、出店料に交通費、遠方からだと宿泊費、をのせたくなるのは痛いほどわかる。でも、全部のせた金額では買ってくれない・・・。自分の作りたいものを作っても、売れるものとは違う。会場を見渡せば作品を見て作者さんと話をしている人は沢山いるが、買っている人が少ない。これが現実です。ネット販売もするが、実際にお客様と触れ合う方がやる気が出るんです。と、出店者さんと話す。方向音痴の三人衆このイベントで一番作品として良かった店に、最後に行き、「今日一番でした」と伝えた。「救われました」。と出店者さん、これが全部表しているかな。まっこと商売って難しいです。

ねがみ

健康管理



スマートウォッチなるものを買ってみました。iPhone ではないので AppleWatch ではなくグーグル連携できる Fitbit を選びました。使いこなせるか自信がないので最低限の機能（電話、メール、電子決済もできません）で十分とお手頃価格の 7,000 円位のものでした。使いはじめて一週間ほど。よくわからない機能もあり一日の歩数や心拍数、消費カロリー、睡眠時間を計測しているだけですが、あと少しで一万歩！と夕方のスーパーで店内をわざとウロウロ。摂取カロリーも手打ちで入れれば計算してくれ、消費カロリーと照らし合わせて目標体重までの達成率を表示してくれるようです。今は無料のアプリを使用しているので計測できるものに制限があるのもありますが、まだまだ使いこなせていません。有料版のアプリを入れるとインストラクターのアドバイスも受けられるようですが、1 年ぐらい飽きずに使うことができるようなら、グレーアップしようかしら？

祥子